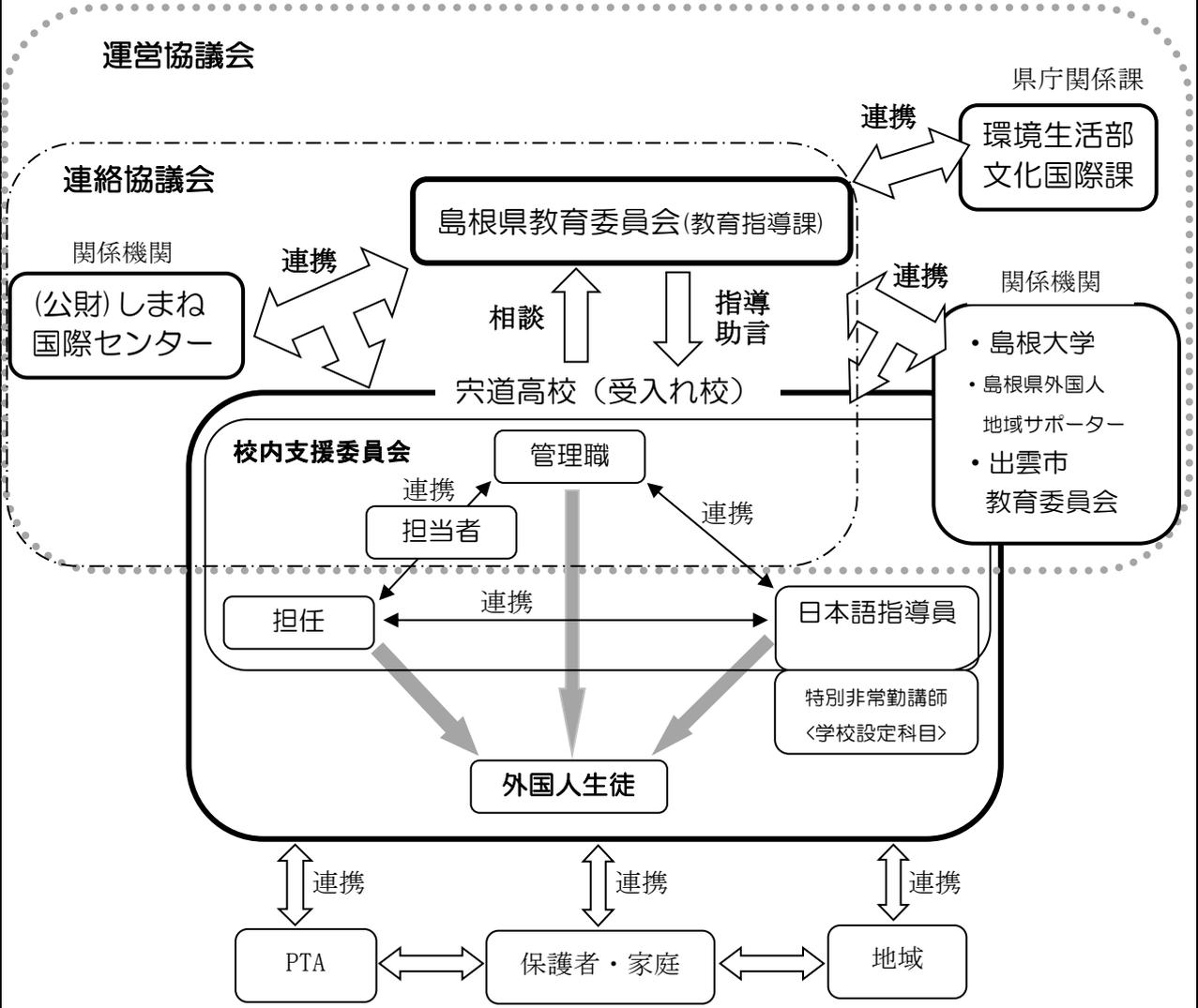


令和5年度 帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業
 (I 帰国・外国人児童生徒等に対するきめ細かな支援事業)
 事業内容報告書の概要

地方公共団体名【 島根県 】

令和5年度に実施した取組の内容及び成果と課題

1. 事業の実施体制(運営協議会・連絡協議会の構成員等)



【運営協議会】11名

- ・島根県教育委員会教育指導課 (課長、高校教育推進スタッフ調整監、指導主事)
- ・宍道高校 (校長、教頭、日本語指導担当教員)
- ・島根大学グローバル推進機構外国語教育センター准教授
- ・島根県環境生活部文化国際課 多文化共生推進スタッフ調整監
- ・(公財)しまね国際センター理事
- ・島根県外国人地域サポーター

【連絡協議会】7名

- ・島根県教育委員会教育指導課 指導主事
- ・宍道高校 (教頭、日本語指導担当教員、日本語指導員3名)
- [アドバイザー]
- ・しまね国際センター 事業推進課長

2. 具体の取組内容 ※取り組んだ実施事項(1)～(13)について、それぞれ記入すること

(1) 地域の外国人児童生徒等指導体制の推進に係る運営協議会・連絡協議会の設置・運営 (必須実施項目)

① 運営協議会の実施 年間2回

- ・第1回 令和5年6月22日(木) 13:30～15:00
- ・第2回 令和6年1月12日(木) 13:30～15:00

② 連絡協議会の実施 年間4回

- ・第1回 令和5年4月27日(木) 14:00～15:00
- ・第2回 令和5年7月24日(月) 14:00～15:00
- ・第3回 令和5年10月11日(水) 14:00～15:00
- ・第4回 令和6年1月11日(木) 13:30～15:00 *第2回運営協議会と兼ねる

(2) 学校における指導体制の構築 (必須実施項目)

① 帰国・外国人生徒等のための科目設定

- ・「日本語理解Ⅰ」(8単位)学習に必要な日本語(基礎)の理解と習得
- ・「日本語理解Ⅱ」(4単位)学習に必要な日本語の理解と習得、総合的な日本語力の向上
- ・「日本語理解Ⅲ」(2単位)敬語等の習得と日本社会におけるコミュニケーション力の向上

② HRクラス・カリキュラムの配慮

- ・日本語指導が必要な1年次の外国ルーツ生のみHRクラスを設置
- ・比較的学习しやすいと考えられる教科・科目を受講できるようなカリキュラム編成
- ・既存の科目において、外国ルーツ生のみを集め、日本語指導員が学習補助に入る「CLD授業」を行う。

③ 宍道高校の指導体制の整備

○教職員配置

- ・日本語指導が必要な生徒の受入れのための教員1名加配
- ・学校設定科目「日本語理解Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」で専門指導をする特別非常勤講師の配置(県単措置)
- ・母語ができる日本語指導員の3名(1名:ポルトガル語、1名:中国語、1名:英語)の配置

○校内支援委員会の設置

○校内研修の実施

- ・外国ルーツ生受入のための教職員研修 令和5年4月12日(木) *外部にも案内

④ その他

○多文化共生の理解をねらいとする文化的イベントの実施

- ・多文化共生を考える日「異文化・多文化を楽しもう!!」 令和5年11月22日(水)
- ・日本文化体験ツアー 令和6年2月27日(水)

○校内学習成果発表会での発表

- ・学びのキセキ☆発表会 令和6年2月21日(水)

(4) 成果の普及 (必須実施項目)

① 日本語指導が必要な児童生徒教育研修における宍道高校の実践事例の発表

- ・第1回 令和5年5月30日(火)
- ・第2回 令和5年12月7日(木)

(8) 高校生等に対する包括的な教育・支援

(I) 学力保障・進路指導

社会的・職業的自立に向け、自己理解の深化も含めたキャリア教育の実施

- ・キャリアガイダンスの実施 令和5年6月27日(火) ※宍道高校実施
- ・インターンシップ、企業見学への参加 ※宍道高校実施

小中学生を対象としたキャリア教育の実施

- ・外国ルーツ生(中学生)対象の高校説明会の実施 令和5年8月22日 ※宍道高校実施
- ・外国にルーツをもつ児童生徒の保護者を対象とした進路ガイダンスの実施
令和5年11月8日(水)、9日(木)

(II) ICTを活用した教育・支援

- ・多言語翻訳機器(翻訳アプリVoice Biz)を活用し、学校での学習や、家庭での授業 予習・復習等の家庭学習を

支援し、生徒の自立支援を促した

(Ⅲ) 高校生等に対する放課後や学習内外での居場所作りに資する取組

- ・地域探究部（部活動）のプログラミング学習（毎週月・金の放課後）
- ・地域のボランティアサークルへの参加 外国ルーツ児童の活動をサポート

(10) 日本語指導ができる、又は児童生徒等の母語が分かる支援員の派遣

(1) 日本語指導の授業

- ・学校設定科目「日本語理解」を設置し、専門指導する特別非常勤講師2名を配置
 - 「日本語理解Ⅰ」（8単位）（1年次生対象）
 - 「日本語理解Ⅱ」（4単位）（2年次生対象）
 - 「日本語理解Ⅲ」（2単位）（3年次生対象）

(2) 教科指導

- ・宍道高校にポルトガル語がわかる日本語指導員、中国語がわかる日本語指導員、英語がわかる日本語指導員それぞれ1名（3名で年間合計3,000時間）を配置し、授業での学習補助、生徒指導補助を行った。
- ・令和5年度より「日本語理解」以外の複数の科目でCLD授業を実施。外国ルーツ生のみを集め、学習内容を絞り込んだ形での授業を展開した。

(3) 授業場面以外での支援

- ・教材作成、保護者向けの文書の日本語訳、保護者・生徒面談の担任サポート、放課後の学習支援

3. 成果と課題 ※取り組んだ実施事項(1)～(13)について、それぞれ記入すること

(1) 地域の外国人児童生徒等指導体制の推進に係る運営協議会・連絡協議会の設置・運営（必須実施項目）

成果：校内で組織された支援委員会がしっかりと機能を果たし、教職員研修を実施するなど、学校全体の取組としての支援体制が一層整備された

課題：主に、生徒からの相談体制を整えるために、しまね国際センターを始め、他機関と協働・連携し、それぞれの人的資材が有効に機能するようなマネジメント、コーディネートが重要となる

(2) 学校における指導体制の構築（必須実施項目）

成果：①生徒の日本語能力のレベルに応じたきめ細かな支援を行うことができた

②校内で定期的に協議したり、校内研修も開催したりすることで、学校全体で生徒の指導・支援していく雰囲気、より一層醸成された

③多文化共生の理解をねらいとする文化的イベント等を実施することで、外国ルーツ生と日本人生徒とのコミュニケーションの機会が増え、お互いに理解を深めた

課題：各教科の指導の在り方や対象生徒の評価の在り方等について、さらに研究していく必要がある

(4) 成果の普及（必須実施項目）

成果：第1回の研修では、新任の担当者に対して日本語指導の現状と課題について周知でき、また、第2回の研修では、参加者に対して、日本語指導についての知識や理解を深めるとともに、参加者自身の課題に対する気づきにつながった

課題：高校で開発した日本語指導の教材や指導体制など島根県教育委員会ホームページに掲載するとともに、研修会などで引き続き、成果普及を図る

(8) 高校生等に対する包括的な教育・支援

成果：①生徒に対して、高校卒業後の進路に対するイメージや、小中学生の保護者に対して、早期からの高校進学に向けたイメージを持たせることができた

②ICT機器の利用により、教員の生徒理解や生徒の学習支援に役立った

③地域探究部、地域のボランティアサークルへの参加を通じて、学校内外における自分の居場所を確かめることができた

課題：①キャリア教育の指導体制を確立させる

②ICT機器活用が不慣れな教員に対する校内の支援体制を整える

③生徒が学習以外の場面で、自己を肯定する機会をもてるよう活動を継続していく必要がある

(10) 日本語指導ができる、又は児童生徒等の母語が分かる支援員の派遣

成果：・日本語指導の授業の展開により、日本語の学習言語の習得に役立ち、生徒が学習に主体的に取り組むことができるカリキュラムを編成した

・日本語指導員が授業へ入り込み、生徒個々の日本語能力に応じたきめ細かい指導を行うことができた

課題：キャリアカウンセラーや、更なる指導員の配置等の人的増員が必要である

	幼稚園等	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	中等教育学校	特別支援学校
本事業で対応した幼児・児童生徒数	(人園)	(人校)	(人校)	(人校)	(14人校)	(人校)	(人校)
うち、特別の教育課程で指導を受けた児童生徒数		(人校)	(人校)	(人校)	(0人校)	(人校)	(人校)

4. その他(今後の取組予定等)

4. その他(今後の取組予定等)

(1) 宍道高校(受け入れ校)における支援環境の整備

- ・日本語指導員の増員配置
- ・日本語指導の授業の充実
- ・キャリア教育プログラムの開発

(2) 宍道高校以外の高校における支援

- ・文書翻訳・面談等における通訳の外部委託

(3) 成果普及

- ・日本語指導研修における受け入れ校の実践発表
- ・開発教材のホームページへの掲載

※ 枠は適宜広げること。(複数ページになっても差し支えない) 成果物等があれば別途提出すること。

※ 事業内容報告書の概要は、担当者・連絡先欄を除き、様式9(添付1)の5. 成果イメージ資料のポンチ絵と併せて、文部科学省ホームページで公開す